

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【公表番号】特表2013-544069(P2013-544069A)

【公表日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【年通号数】公開・登録公報2013-067

【出願番号】特願2013-512280(P2013-512280)

【国際特許分類】

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 5/00 1 0 2

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月31日(2014.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

iPS細胞の樹立効率の改善方法であって、核初期化工程において、サイクリンDファミリーに属するタンパク質及びそれらをコードする核酸からなる群より選択される1以上の因子を体細胞に接触させることを含む、方法。

【請求項2】

前記タンパク質が、サイクリンD1、サイクリンD2及びサイクリンD3である、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記タンパク質が、T286A サイクリンD1およびサイクリンD3である、請求項1記載の方法。

【請求項4】

サイクリンDファミリーに属するタンパク質及びそれらをコードする核酸からなる群より選択される因子を含有してなる、iPS細胞の樹立効率改善剤。

【請求項5】

前記タンパク質が、サイクリンD1、サイクリンD2及びサイクリンD3である、請求項4記載の剤。

【請求項6】

体細胞に核初期化物質と、サイクリンDファミリーに属するタンパク質及びそれらをコードする核酸からなる群より選択される1以上の因子とを接触させることを含む、iPS細胞の製造方法。

【請求項7】

前記核初期化物質が、Octファミリーのメンバー、Soxファミリーのメンバー、Klf4ファミリーのメンバー、Mycファミリーのメンバー、Linファミリーのメンバー及びNanog、並びにそれらをコードする核酸からなる群より選択される、請求項6記載の方法。

【請求項8】

前記核初期化物質が、Oct3/4、Sox2及びKlf4、又はそれらをコードする核酸である、請求項7記載の方法。

【請求項 9】

前記核初期化物質が、Oct3/4、Sox2、Klf4及びc-Myc、又はそれらをコードする核酸である、請求項7記載の方法。

【請求項 10】

前記核初期化物質が、Oct3/4、Sox2、Klf4及びL-Myc、又はそれらをコードする核酸である、請求項7記載の方法。

【請求項 11】

サイクリンDファミリーに属するタンパク質が、サイクリンD1、サイクリンD2及びサイクリンD3である、請求項6～10のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

サイクリンDファミリーに属するタンパク質及びそれらをコードする核酸からなる群より選択される因子と、核初期化物質とを含有してなる、体細胞からのiPS細胞誘導剤。

【請求項 13】

請求項6～11のいずれか一項に記載の方法により作製されたiPS細胞に対して分化誘導処理を行い、iPS細胞を体細胞に分化させることを含む、体細胞の製造方法。

【請求項 14】

下記の工程：

- (1) 請求項6～11のいずれか一項に記載の方法によりiPS細胞を製造する工程、及び
 - (2) 上記工程(1)で得られたiPS細胞に分化誘導処理を行い、iPS細胞を体細胞に分化させる工程、
- を含む、体細胞の製造方法。